

特集 漢方療法の最新情報

巻 頭 言

京都府立医科大学大学院医学研究科
皮膚科学

加 藤 則 人



日々の診療で漢方療法を使いこなし効果を実感しておられる医師もいれば、漢方療法を取り入れた診療をしてみたいが証の見極め方や方剤の区別などハードルが高いと感じておられる医師もいると思う(私は後者です)。今回の特集では「漢方療法の最新情報」というテーマで、総合医療・医学教育学の山脇正永教授には「漢方医学の教育の現状と課題：京都府立医科大学及び附属病院での教育から」、化学療法部・消化器内科の吉田直久講師には「がん化学療法に伴う副作用に対する漢方薬の有用性」、産婦人科

学教室の岩佐弘一講師には「婦人科領域の漢方療法の最新情報」、皮膚科学教室の中井章淳講師には「皮膚科領域の漢方療法—アトピー性皮膚炎に対する漢方併用療法」と、京都府立医科大学および附属病院の第一線で漢方療法を活用してご活躍中のエキスパートの先生方に、それぞれの分野の最新の情報や今後の展望などについてご執筆いただいた。

ご一読いただき、診療にお役立ていただければ幸いです。